

河合塾エンリッチ講座

2016

日本と“つき合う”



1973年 南仏ニース生まれ。

高校時代に日本語の勉強をはじめ、卒業後「フランス国立東洋言語文化研究所」(イナルコ)で日本語・日本近代文学を専攻し、1997年に修士号を取得。1997年 フランス政府公式機関である「九州日仏学館」(福岡)にフランス語講師として勤務。翌年より地元のラジオ局でフランス音楽の番組をスタート、福岡のクラブでDJ、イベントのMCとしての活動を開始。2001年に上京し、在日フランス大使館アンスティチュフランセ日本に所属。様々なラジオ、TVに出演するなど幅広く活動を展開。



2010年 大阪の落語家・林家染太との出会いをきっかけに本格的に落語を教わる。

2011年「落語国際大会 in 千葉」に出場し3位を獲得。外国語で落語を演じる三遊亭電楽のフランス公演のコーディネーターや通訳として同行し、積極的に落語の海外普及に努めている。現在、浅草の寄席や老人ホーム、福祉センター、フレンチレストランなどでも口演。2014年 世界最大の演劇祭『アヴィニョン・フェスティバル』で、連続23日間落語を口演する。

2013年よりマンガの翻訳活動も開始。落語をテーマにした漫画『どうらく息子』、『名探偵コナン』(第75巻～)。2015年度から、明治大学(中野キャンパス)で「仏蘭西 & RAKUGO」というスペシャル講義を担当している。

● 進行：小野木 豊昭 (古文科講師)

落語パフォーマー、クラブDJ、MC等タレント、翻訳家、日仏文化論講師など多彩な活動を、「日本」を基盤にしつつも世界各地で展開するフランス人 シリル・コピーニ。

日本語と日本文化の造詣は限りなく深く、しかもその知識は現代社会としっかりリンクして発信されるから“説得力”は半端ないのだ。

コピーニさんのさまざまな表現は、今の日本で生きる多くの人々にとって、想像力を思いっきり喚起される“刺激”に他ならない。

最近ではもっぱら、江戸時代に生まれた伝統語り芸「落語」にエネルギーを注いでいるようだ。来日して20年、文化圏の壁を超えて生きるコピーニさんから、日本とつき合ってきた“今の想い”を皆と共に聞いてみたいと思っている。もちろんコピーニさんには落語を披露してもらおう。たまには“ココロの鍵”を開けて笑ってみるのも素敵なのかも知れない。

6月9日(木) 17:30~19:00

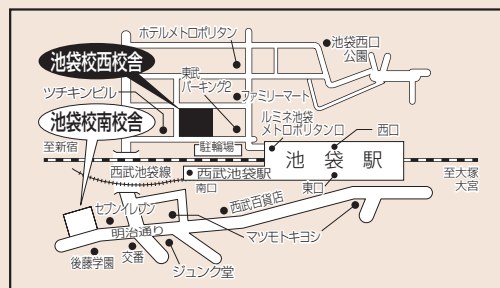
池袋校 西校舎 3A教室

入場無料
申込不要

〒171-0021 豊島区西池袋 1-3-12

☎ 0120-198-630

●JR-西武池袋線・東武東上線・東京メトロ丸ノ内線・有楽町線・副都心線池袋駅
メトロポリタン口より徒歩1分



※どなたでも自由に参加できます。